

2026 春入学

卒業要件ガイダンス

アジア太平洋学部（APS） / 2023カリキュラム / 日本語基準

スチューデント・オフィス



質疑応答はガイダンスの最後に行います。



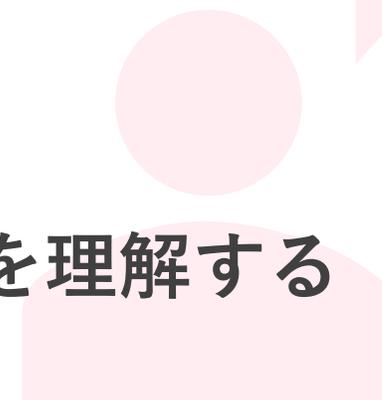
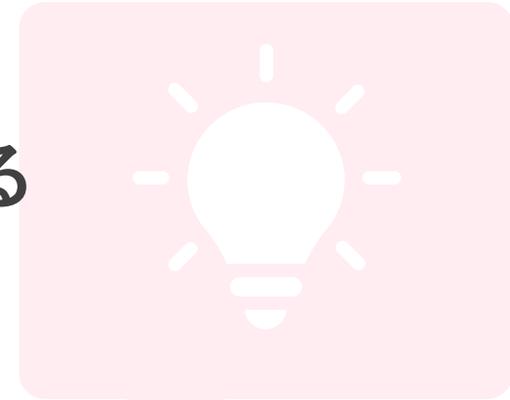
本資料は、新入生オリエンテーションサイトにアップします。QRコードよりアクセスし、手元で見ても構いません。



受講登録で不明な点があれば、ウェブサイトを常に確認するようにしましょう。



1. 大学の学修・仕組みについて理解する
2. 卒業要件を理解する
3. 受講登録までに準備することを理解する



1

基本的な情報と卒業要件

1-1

大学での学修における基本的な情報

1-2

アジア太平洋学部（APS）について

- 卒業要件と科目分野



休憩

2

受講登録について

2-1

受講登録とは

2-2

受講登録期間

2-3

受講登録ガイダンスに向けたワーク

2-4

その他

1-1. 大学での学修における基本的な情報

4月	春セメスター	第1クォーター
5月		
6月		第2クォーター
7月		
8月		夏セッション
9月		
10月	秋セメスター	第1クォーター
11月		
12月		第2クォーター
1月		
2月		冬セッション
3月		

学年暦とは？

- 年間予定を記載したカレンダーのことです。1年は2つのセメスターに分かれ、各セメスターはさらに2つのクォーターとセッションに分かれています。
- 4月から始まる学期を春セメスター、10月から始まる学期を秋セメスターと呼びます。
- セッションとは、長期休暇が始まって最初の1週間を使って行われる授業がある期間です。

学年暦を見る 

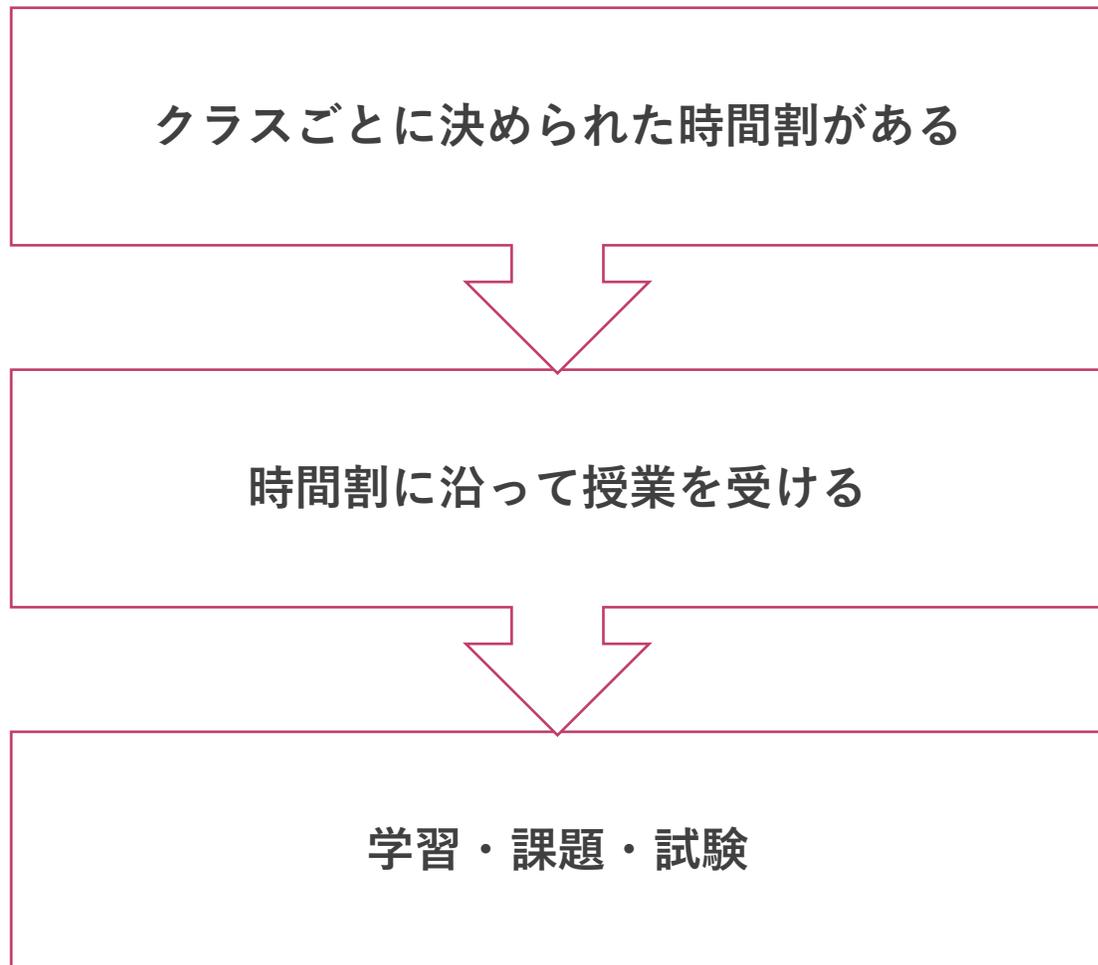
▶ **春入学の場合：最初に迎えるセメスターが「春セメスター」**

1回生		2回生		3回生		4回生	
春セメスター	秋セメスター	春セメスター	秋セメスター	春セメスター	秋セメスター	春セメスター	秋セメスター
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター

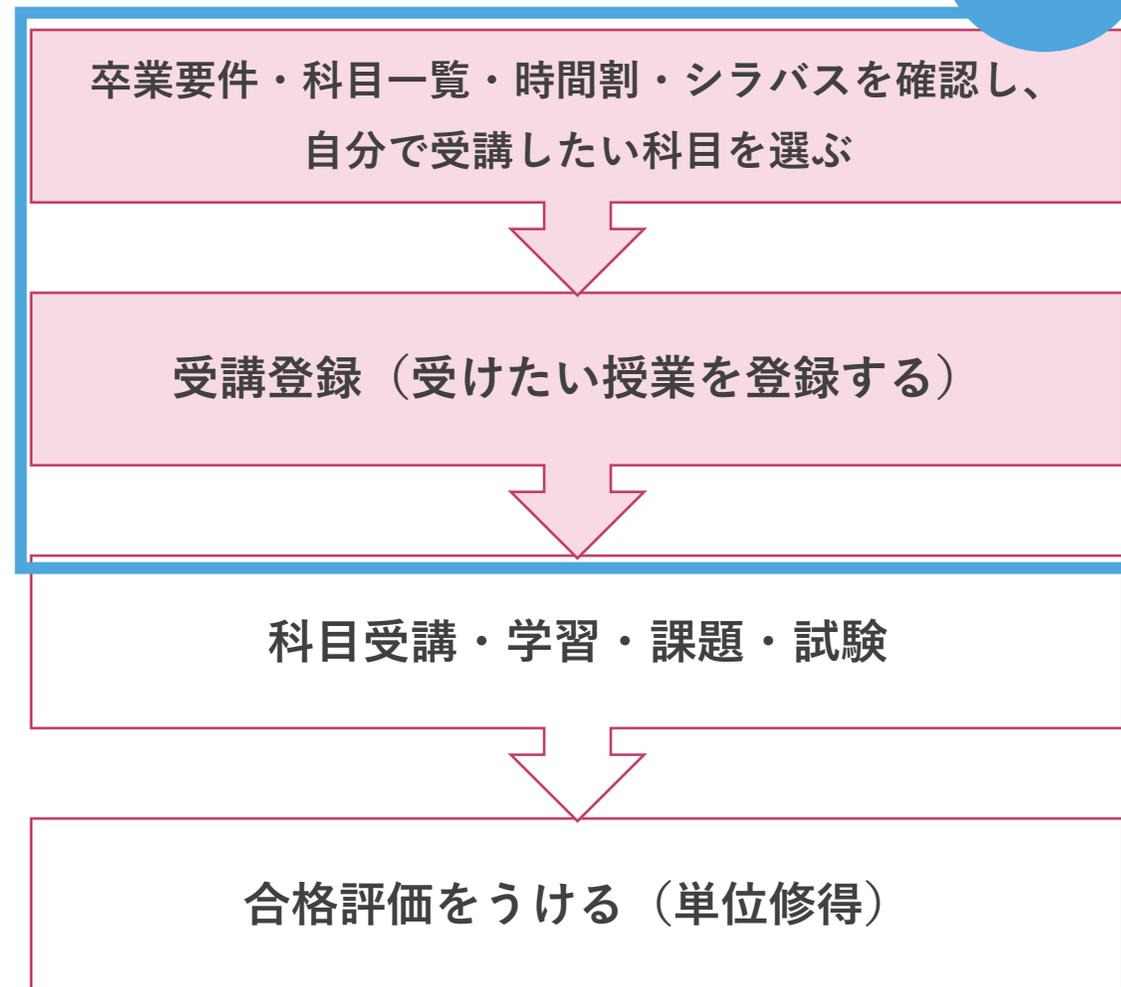
▶ **秋入学の場合：最初に迎えるセメスターが「秋セメスター」**

1回生		2回生		3回生		4回生	
秋セメスター	春セメスター	秋セメスター	春セメスター	秋セメスター	春セメスター	秋セメスター	春セメスター
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター

▶ 高校までは…



▶ 大学では…



科目の種類

春semester：4月～5月（1クォーター）または 6月～7月（2クォーター）の2カ月で授業が行われる
秋semester：10月～11月（1クォーター）または 12月～1月（2クォーター）の2カ月で授業が行われる

科目	単位数	開講形態	1週間の授業回数	合計の授業回数
講義科目	2単位	クォーター（2カ月）	2回	14回
		semester（4カ月）	1回	
演習科目	2単位	semester（4カ月）	1回	14回
言語科目	4単位	semester（4カ月）	4回	56回
	2単位		2回	28回

春semester：4月～7月の4カ月で授業が行われる
秋semester：10月～1月の4カ月で授業が行われる

授業実施形態は、「対面授業」または「遠隔授業（オンライン・オンデマンド）」のいずれかとなります。
各科目の授業実施形態については、シラバスと時間割の両方を見て確認してください。

授業形態		授業の受け方
対面授業		対面型（教室）で実施されます。 ただし、一部授業回がオンライン実施（ZOOM）となる場合があります。 この場合、その授業回はオンライン（ZOOM）で出席する必要があります。
遠隔授業	オンライン	リアルタイムで配信される授業です。 時間割に記載された曜日・時限にZoom等で授業が実施されます。
	オンデマンド	Moodle等で提示された教材、講義動画などを指定された期間内に視聴し、課題等に取り組みます。 原則的に、時間割に記載された曜日・時限に配信が開始されます。

（単位集計時の注意）－2 Semester以降、自身で受講登録をする際に気をつけてください－

「遠隔授業科目」は、大学設置基準及び本学学則に基づき、卒業要件単位数として認められる単位数は【60単位】が上限となります。

【60単位】を超えて修得した場合、卒業に必要な単位としてカウントすることはできません。詳しくは、ウェブサイト「[6. 授業の実施形態](#)」を確認してください。

時間割サンプル（第1クォーター&第2クォーター）

- クォーター科目を履修する場合、**第1クォーター**と**第2クォーター**で時間割が変わるので要注意！
- クォーター開講科目を履修している曜日・時限に、セメスター開講科目を登録することはできません。

時限	授業時間	開講	月	火	水	木	金
1	8:45-10:25	1Q	英語初級A	英語初級B	スチューデント サクセス ワークショップ	英語初級A	英語初級B
		2Q					
2	10:35-12:15	1Q			多文化協働 ワークショップ	1クォーター科目	
		2Q					
3	12:30-14:10	1Q		英語初級A			英語初級A
		2Q					
4	14:20-16:00	1Q		プログラミング入門	2クォーター科目		生命倫理
		2Q					
5	16:10-17:50	1Q	観光学入門			セメスター科目	
		2Q					
6	18:00-19:40	1Q					
		2Q					

▶ 通常の評価

評価	得点率	合否
A+	90%以上	合格 (単位修得)
A	80-89%	
B	70-79%	
C	60-69%	
F	59%以下	不合格

▶ 左記以外の評価

記号	意味	備考
P	合格	一部の科目で使用
T	認定	60単位を上限※
E	免除	単位として集計はされない

※ 2回生・3回生に編・転入学した学生については、編・転入学時に認定された単位数は含みません。

通算GPA:

$$(A+\text{の単位数} \times 4) + (A\text{の単位数} \times 3) + (B\text{の単位数} \times 2) + (C\text{の単位数} \times 1) + (F\text{の単位数} \times 0)$$

総登録単位数 (P・T評価は除く)

当該セメスターGPA:

$$(A+\text{の単位数} \times 4) + (A\text{の単位数} \times 3) + (B\text{の単位数} \times 2) + (C\text{の単位数} \times 1) + (F\text{の単位数} \times 0)$$

当該セメスター登録単位数 (P・T評価は除く)

教育目標

激動する21世紀の地球社会のパラダイム転換を牽引するアジア太平洋地域の多様な社会、政治、経済、文化やその独自性に関する総合的理解を目指し、アジア太平洋学部では、アジア太平洋地域が直面する多様な諸問題を解決するための社会科学の基礎的・専門的知識による問題解決能力および実践力を修得させる教育環境を提供する。アジア太平洋学部では、同時に同地域の持続的発展と共生に貢献する、専門性、共感能力、コミュニケーション能力、インテグリティ（高潔さ・ぶれない芯の強さ）を備えた学生を育成する

▶ カリキュラムとは？

卒業に必要な条件や履修できる科目を定めたもので、入学年度によって決まります。

卒業まで変更されることはありません。（退学などの学籍異動の場合を除く）



- 卒業するための条件は、入学基準の言語で大きく異なります。
- 日本語基準の学生は、プレイスメントテストの結果によって、英語の履修トラック（履修の開始レベル）が分かります。**
- 英語の履修トラックによって、英語科目の必要単位数が異なります。
- 卒業まで変更されることはありません。（退学などの学籍異動の場合を除く）

学部	アジア太平洋学部 (APS)							
入学基準言語	日本語基準 (J) ※英語科目が必修 (卒業要件3)						英語基準 (E)	
英語の開始レベル (卒業に必要な英語科目の単位)	初級 (24)	準中級 (18)	中級 (12)	準上級 (6)	上級1 (12)	上級2 (6)	免除 (0)	
英語の履修トラック	スタンダードトラック (ST)			アドバンスドトラック (AT)				
カリキュラム	APS 23 JST			APS 23 JAT				APS 23 E
意味	APS 2023カリキュラム 日本語基準 スタンダードトラック			APS 2023カリキュラム 日本語基準 アドバンスドトラック				APS 2023カリキュラム 英語基準

▶ APS 2023カリキュラム図より一部抜粋

		1回生		2回生		3回生		4回生	
APS 専門 教育 科目	コア科目	地域研究入門	2						
	文化・社会・メディア (CSM)			社会学	2 カルチュラルスタディーズ	2 社会学アドバンスド	2		
				国際社会学	2 メディアと文化	2 社会学理論	2		
				社会学概論	2 メディアと法	2 エスニシティと国民国家	2		
			宗教と社会	2 メディアと歴史	2 アイデンティティと政治	2			
			教育と社会	2 デジタル・テクノロジーと社会	2 メディアと政治	2			
			異種と社会	2 グローバル・ヒストリー	2 メディアと紛争	2			
			環境と社会	2 政治理論	2 ニューメディアと社会	2			
			フード・システムと社会	2 人権論	2 交差の世界史	2			
			異種とグローバルイゼーション	2 平和学	2				
			グローバル化と地域主義	2 人文学と近代	2				
			多文化社会学論	2 社会心理学	2				
			ジェンダー研究	2 ビッグデータ分析	2				
			文化人類学	2					
	グローバル経済 (GE)			社会学概論	2 計量経済学	2 行動経済学・実験経済学	2 アメリカ経済論	2	
				国際社会学	2 ゲーム理論	2 日本経済論	2 ヨーロッパ経済論	2	
				文化人類学	2 国際協力論	2 国際経済学	2 国際機構論	2	
				ミクロ経済学	2 開発政治論	2 アジア経済論	2 公共政策	2	
				マクロ経済学	2 アジア太平洋の比較政治経済	2 開発経済学	2 国際政治経済学	2	
				異種と異種	2 紛争と開発	2 発展生物学	2 特殊講義 (アジア・中東・アフリカ経済事情)	2	
				フード・システムと社会	2 プロジェクトマネジメント	2 環境コミュニケーション	2 国際金融論	2	
				環境と社会	2 エネルギーマネジメント	2 グローバルヘルス経済学	2 環境経済学	2	
				グローバル経済分析	2 ビッグデータ分析	2			
				異種とグローバルイゼーション	2				
	国際関係 (IR)			国際関係概論	2 国際政治史	2 エスニシティと国民国家	2 アイデンティティと政治	2	
				国際協力論	2 国際法	2 メディアと政治	2 冷戦後の紛争と地政学	2	
				人権論	2 国際問題と政策	2 メディアと紛争	2 暴力とテロリズム	2	
				政治理論	2 紛争と開発	2 アジア太平洋における国際関係	2 グローバリゼーションと法	2	
				開発政治論	2 平和学	2 国際機構論	2 国際紛争解決	2	
				アジア太平洋の比較政治経済	2 グローバル化と地域主義	2 公共政策	2 日本の外交政策	2	
	共通A (-)			特殊講義 (専門教育科目)	2	国際政治経済学	2 戦略分析と意思決定	2	

- カリキュラム図では、卒業までに学ぶことができる科目を一目で確認できます。
(画像は科目の一部のみ)
(他学部の科目は未掲載)
- APSで学ぶことができる科目の中でも、**卒業するために必ず単位を修得しなければならない科目**が定められています。



卒業要件

- 卒業するためには、以下の全てを満たす必要があります。

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	3つの学修分野の中から、いずれかひとつの学修分野を登録すること
7	3つの学修分野で指定されたそれぞれの共通教養科目から1科目ずつ合計6単位以上を修得すること
8	自身が登録した学修分野の専門教育科目を36単位以上修得していること（No.9の単位を含む）
9	「卒業研究Ⅱ」の単位を修得すること

- 卒業するためには、以下の全てを満たす必要があります。

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	3つの学修分野の中から、いずれかひとつの学修分野を登録すること
7	3つの学修分野で指定されたそれぞれの共通教養科目から1科目ずつ合計6単位以上を修得すること
8	自身が登録した学修分野の専門教育科目を36単位以上修得していること（No.9の単位を含む）
9	「卒業研究Ⅱ」の単位を修得すること

- 卒業するためには、以下の全てを満たす必要があります。

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	3つの学修分野の中から、いずれかひとつの学修分野を登録すること
7	3つの学修分野で指定されたそれぞれの共通教養科目から1科目ずつ合計6単位以上を修得すること
8	自身が登録した学修分野の専門教育科目を36単位以上修得していること（No.9の単位を含む）
9	「卒業研究Ⅱ」の単位を修得すること

卒業要件2: 合計124単位以上修得していること

- 卒業するためには、合計124単位以上を修得する必要があります。
- 124単位を修得するにも、細かくルールが定められています。

合計	科目分野	小計	科目分野	JST 必要単位数	JAT 必要単位数
124単位 以上	共通教育科目	40	英語科目（必修）	24	12
			共通教養科目	10	10
			[CSM] 共通教養科目（必修）	2	2
			[GE] 共通教養科目（必修）	2	2
			[IR] 共通教養科目（必修）	2	2
			言語教育科目および共通教養科目	—	12
APS専門教育科目	62	選択した学修分野の専門教育科目 ※卒業研究Ⅱ（必修）の2単位含む	36	36	
他学部専門教育科目	0				
要卒集計外科目	0				

- 卒業するためには、以下の全てを満たす必要があります。

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	3つの学修分野の中から、いずれかひとつの学修分野を登録すること
7	3つの学修分野で指定されたそれぞれの共通教養科目から1科目ずつ合計6単位以上を修得すること
8	自身が登録した学修分野の専門教育科目を36単位以上修得していること（No.9の単位を含む）
9	「卒業研究Ⅱ」の単位を修得すること

124単位を修得する上での
細かいルール

卒業要件3: 必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）

▶ 日本語基準学生は、英語科目が必修！

- 入学時のプレイスメントテストによって、**開始レベルと履修トラックが決定**されます。
- 必修科目の単位を修得し終えるまで自動的に大学がクラスを指定します。
- A/B両方の科目の単位を修得すると次のレベルに進むことができます。**AまたはBのどちらかが不合格の場合、次のレベルに進むことはできません。**
- 例えば、英語Aが合格、英語Bが不合格であった場合、次のセメスターに英語Bのみ登録します。

履修トラック	開始レベル	必要単位	スタンダードトラック 必修英語				アドバンストラック 必修英語	
			初級A	準中級A	中級A	準上級A	上級1A	上級2A
スタンダードトラック (JST)	初級	24	1セメ	初級修得後	準中級修得後	中級修得後	(選択)	(選択)
	準中級	18	免除	1セメ	準中級修得後	中級修得後	(選択)	(選択)
	中級	12	免除	免除	1セメ	中級修得後	(選択)	(選択)
	準上級	6	免除	免除	免除	1セメ	(選択)	(選択)
アドバンストラック (JAT)	上級1	12	受講不可				1セメ	上級1修得後
	上級2	6					免除	1セメ
	免除	0					免除	免除

卒業要件3: 必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）

- 英語の開始レベルによって、同じ履修トラックでも卒業に必要な【英語科目】と【言語教育科目および共通教養科目】の単位数が異なります。

JST: 英語初級
始まり

合計	科目分野	小計	科目分野	JST 必要 単位数
124 単位 以上	共通教育科目	40	英語科目（必修）	24
			共通教養科目	10
			[CSM] 共通教養科目（必修）	2
			[GE] 共通教養科目（必修）	2
			[IR] 共通教養科目（必修）	2
	言語教育科目および共通教養科目	—		
APS専門教育科目	62	選択した学修分野の専門教育科目 ※卒業研究Ⅱ（必修）の2単位含む	36	
他学部専門教育 科目	0			
要卒集計外 科目	0			

JST: 英語準上級
始まり

合計	科目分野	小計	科目分野	JAT 必要 単位数
124 単位 以上	共通教育科目	40	英語科目（必修）	6
			共通教養科目	10
			[CSM] 共通教養科目（必修）	2
			[GE] 共通教養科目（必修）	2
			[IR] 共通教養科目（必修）	2
	言語教育科目および共通教養科目	18		
APS専門教育科目	62	選択した学修分野の専門教育科目 ※卒業研究Ⅱ（必修）の2単位含む	36	
他学部専門教育 科目	0			
要卒集計外 科目	0			

- 卒業するためには、以下の全てを満たす必要があります。

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	3つの学修分野の中から、いずれかひとつの学修分野を登録すること
7	3つの学修分野で指定されたそれぞれの共通教養科目から1科目ずつ合計6単位以上を修得すること
8	自身が登録した学修分野の専門教育科目を36単位以上修得していること（No.9の単位を含む）
9	「卒業研究Ⅱ」の単位を修得すること

卒業要件4: 各科目分野の必要単位数を修得していること

JST: 英語初級
始まり

合計	科目分野	小計	科目分野	JST 必要 単位数
124 単位 以上	共通教育科目	40	英語科目 (必修)	24
			共通教養科目	10
			[CSM] 共通教養科目 (必修)	2
			[GE] 共通教養科目 (必修)	2
			[IR] 共通教養科目 (必修)	2
			言語教育科目および共通教養科目	—
	APS専門教育科目	62	選択した学修分野の専門教育科目 ※卒業研究Ⅱ (必修) の2単位含む	36
他学部専門教育科目	0			
	要卒集計外科目	0		

計 102単位

- 卒業に必要な124単位中【102単位】は、修得すべき科目分野と単位数が定められています。

- 不足分の22単位については、科目分野は決められていません。興味のある分野から修得してください。

124単位 - 102単位 = 22単位
残り22単位の科目分野は問わない



- 英語の開始レベルによって、「英語科目」と「言語教育科目および共通教養科目」の必要単位数が少しずつ異なりますが、定められている各分野の必要単位数102単位は、どの学生も同じです。

- 卒業に必要な単位は、以下の手順で確認できます。
【手順】 CAMPUSWEB ≫ 「履修状況確認（受講登録内容・成績一覧）」
- 卒業するためには…「修得」単位が、「必要」単位を満たす（上回る）必要があります。（下記画像参照）
- 日本語基準国内学生は、英語科目とは別に、反対言語（英語開講科目）を20単位以上修得する必要があります。

学生情報

学籍番号 : 11110000
 年生 : 3年生
 所属 : アジア太平洋学部 アジア太平洋学科 *

あなたが卒業するのに必要な単位数が表示されます

科目分野	必要	修得	反対言語修得	登録	反対言語登録
【合計（卒業要件に含まれる単位）】	124	90	18	8(8)	
■ 共通教育科目	40	48	8	4(4)	
<言語教育科目>		12			
・英語スタンダードトラック科目		6			
ー英語スタンダードトラック科目（必修）	6	6			
・英語アドバンストラック					
・AP言語科目		4			
・特定講義科目		2			
<共通教養科目>	16	36	8	4(4)	
・APUリテラシー科目		18	4	4(4)	
・学部専門入門科目					

124単位中【102単位】は修得すべき分野と単位数が定められています

- 卒業するためには、以下の全てを満たす必要があります。

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	3つの学修分野の中から、いずれかひとつの学修分野を登録すること
7	3つの学修分野で指定されたそれぞれの共通教養科目から1科目ずつ合計6単位以上を修得すること
8	自身が登録した学修分野の専門教育科目を36単位以上修得していること（No.9の単位を含む）
9	「卒業研究Ⅱ」の単位を修得すること

- 卒業するためには、以下の全てを満たす必要があります。

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	3つの学修分野の中から、いずれかひとつの学修分野を登録すること
7	3つの学修分野で指定されたそれぞれの共通教養科目から1科目ずつ合計6単位以上を修得すること
8	自身が登録した学修分野の専門教育科目を36単位以上修得していること（No.9の単位を含む）
9	「卒業研究Ⅱ」の単位を修得すること

▶ **学修分野の登録**

3つの学修分野から自分の希望する分野を1つ登録することが必要です。

文化・社会・メディア (CSM)	グローバル経済 (GE)	国際関係 (IR)
---------------------	-----------------	--------------

▶ **学修分野の登録・変更可能期間**

受講登録期間	2セメスターから最終セメスター
登録・変更可能時期	先着A、先着B、受講辞退1、先着C、受講辞退2の期間内
登録方法	Academic Information のリンクよりFDCで申請

- 変更可能期間中であれば、何度でも学修分野を変更できます。

卒業要件6: 3つの学修分野のうち、いずれかひとつの分野を登録していること

▶ 学修分野の登録・変更方法



<手順>

- ① Academic Informationウェブサイト「第8章-3.卒業要件・学修分野」から、「2023 APS 学修分野登録フォーム」のリンクをクリック。
 - ② 申請したい学修分野をチェック。
 - ③ 左下の「申請内容確認へ進む」ボタンを押す。
 - ④ 申請内容を確認し、右下の「申請内容提出」ボタンを押す。
- ※登録・変更も同じ手順です。

2023カリキュラム APS_学修分野登録

2023カリキュラム APS 所属学生 学修分野登録・変更

2023カリキュラム APS 所属の学生は、こちらから学修分野（3つから1つ）の登録・変更をおこなってください。

- ・登録した学修分野の名称は学位記に記載されます。
- ・学修分野についての詳細は、Academic Information ウェブサイトにてよく確認してください。

登録する学修分野をひとつ、選択してください。

入力が必要な項目です

	文化・社会・メディア (CSM)	グローバル経済 (GE)	国際関係 (IRP)
APS23カリ学修分野	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

中止 **申請内容確認へ進む >** 一時保存

2023カリキュラム APS_学修分野登録

以下の内容で提出します。
内容を確認し、よろしければ[申請内容提出]ボタンを押してください。

2023カリキュラム APS 所属学生 学修分野登録・変更

2023カリキュラム APS 所属の学生は、こちらから学修分野（3つから1つ）の登録・変更をおこなってください。

- ・登録した学修分野の名称は学位記に記載されます。
- ・学修分野についての詳細は、Academic Information ウェブサイトにてよく確認してください。

登録する学修分野をひとつ、選択してください。

	文化・社会・メディア (CSM)	グローバル経済 (GE)	国際関係 (IRP)
APS23カリ学修分野	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

中止 < 申請入力に戻る

申請内容提出

- 卒業するためには、以下の全てを満たす必要があります。

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	3つの学修分野の中から、いずれかひとつの学修分野を登録すること
7	3つの学修分野で指定されたそれぞれの共通教養科目から1科目ずつ合計6単位以上を修得すること
8	自身が登録した学修分野の専門教育科目を36単位以上修得していること（No.9の単位を含む）
9	「卒業研究Ⅱ」の単位を修得すること

共通教養科目とは？

▶ 共通教養科目とは？

- 大学での学びの基盤となる知識・技能と資質・能力を身に付け、深い教養を養うことを目的とする科目です。
- 低回生から履修可能な科目が多くあります。

共通教養科目	APUリテラシー	スチューデントサクセスワークショップ	2	アジア太平洋の異情	2	異文化間コミュニケーションの応用と実践	2				
		多文化理解ワークショップ	2	アジア太平洋の宗教	2	グローバルリーダーシップのためのスキルと実践	2				
		平和・ヒューマニティ・民主主義	2	アジア太平洋の地理	2	ソーシャルパクトのためのグローバルリーダーシップ	2				
		異文化間コミュニケーション入門	2	アジア太平洋の文化と社会	2	茶道	2				
		異文化フィールドワークⅠ	2	アジア太平洋の歴史	2	華道	2				
		異文化フィールドワークⅡ	2	日本の政治と社会	2	日本の伝統芸能	2				
		多文化比較論	2	日本のポピュラーカルチャー	2						
		グローバルリーダーシップの基礎	2	日本の歴史	2						
		海外学習デザイン	2	日本国憲法	2						
		ブリッジプログラム	2	特別講義（日本学）	2						
共通教養科目	学部専門入門	持続可能な開発入門	2			上級数学	2				
		観光学入門	2			基礎数学	2				
		政策学入門	2	1回生	2回生	3回生	4回生				
		政治学入門	2								
		社会科学のための統計学	2								
		文化・社会学入門 ●(CSM)	2								
		メディア学入門 ●(CSM)	2								
		世界経済とグローバル化課題 ●(GE)	2								
		経済学入門 ●(GE)	2								
		国際関係論入門 ●(IR)	2								
比較政治学入門 ●(IR)	2										
共通教養科目	世界市民基礎	法学	2	ネゴシエーションスキル	2	ウェルネス	2				
		心臓学	2	論議とクリティカルシンキング	2	メディア制作ラボ	2				
		生命倫理	2	キャリア形成のための自己分析	2	インターンシップ	2				
		AIと社会	2	キャリア形成のための多様な視点	2	キャリア形成のためのキャリア分野分析	2				
		西洋哲学	2	特別講義（共通教養科目）	2	AIとデータサイエンス	2				
		中国哲学	2	ウェブデザイン	2	GIS入門	2				
		西洋美術	2	情報処理入門	2	データベースシステム	2				
		近現代の科学技術	2	プログラミング入門	2	特別講義（ICT）	2				
		情報リテラシー	2	情報システムプログラミング	2						

卒業要件7:

3つの学修分野で指定されたそれぞれの共通教養科目から1科目ずつ合計6単位以上を修得すること

合計	科目分野	小計	科目分野	JST 必要 単位数
124 単位 以上	共通教育科目	40	英語科目 (必修)	24
			共通教養科目	10
			[CSM] 共通教養科目 (必修)	2
			[GE] 共通教養科目 (必修)	2
			[IR] 共通教養科目 (必修)	2
			言語教育科目および共通教養科目	—
	APS専門教育 科目	62	選択した学修分野の専門教育科目 ※卒業研究Ⅱ (必修) の2単位含む	36
他学部 専門教育 科目	0			
要卒集計外 科目	0			

- どの学修分野も、指定された2科目のうち最低1科目ずつを受講登録し、単位修得してください。

学修分野	学部専門入門科目	単 位	配当セメスター	登録方法
文化・社会・メディア (CSM)	文化・社会学入門	2	1セメスター	学生が登録
	メディア入門	2	1セメスター	学生が登録
グローバル経済 (GE)	経済学入門	2	1セメスター	学生が登録
	世界経済と グローバル課題	2	1セメスター	学生が登録
国際関係 (IR)	国際関係論入門	2	1セメスター	学生が登録
	比較政治学入門	2	1セメスター	学生が登録

※ 配当セメスター以上であれば、受講登録可能

- 1つの学修分野から2科目とも単位修得しても問題ありません。
その場合、4単位中2単位は、「共通教養科目」として集計されます。

- 卒業するためには、以下の全てを満たす必要があります。

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること
6	3つの学修分野の中から、1つ以上を指定された学修分野で5単位以上を修得していること
7	3つの学修分野で指定されたそれぞれの共通教養科目から1科目ずつ合計6単位以上を修得すること
8	自身が登録した学修分野の専門教育科目を36単位以上修得していること（No.9の単位を含む）
9	「卒業研究Ⅱ」の単位を修得すること

APS専門教育科目とは？

APS専門教育科目

▶ APS専門教育科目とは？

- APSの目的と理念を理解し、専門的な知識・技能を身に付け、興味・関心をより深めていく科目です。
- 多くの科目は、2回生以上から履修が可能です。
- APSでは、専門教育科目をさらに下記のように区分しています。

コア科目	APSの目的と理念を理解をするための科目。	
学修分野科目	CSM	アジア太平洋地域における文化・社会・メディアについて学び、この地域が抱える諸問題への理解を深めていく。
	GE	グローバル経済を理解するための理論および分析スキルを養う科目。経済学に加え、共生に関する諸問題、世界各地の地域経済などを学ぶ。
	IR	国際政治、政治学を中心に、経済学、社会学、メディア研究などの周辺学問領域を学ぶ。
学部共通A科目	特殊講義、フィールドスタディなど、学修分野に関わらない有益な知識・経験を得る科目。	
学部共通B科目		
演習	学生の興味・関心に即した少人数の演習形式で、個別最適化されたそれぞれのテーマに基づいて専門的な学びを深めていく。	

- 卒業するためには、以下の全てを満たす必要があります。

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	3つの学修分野の中から、いずれかひとつの学修分野を登録すること
7	3つの学修分野で指定されたそれぞれの共通教養科目から1科目ずつ合計6単位以上を修得すること
8	自身が登録した学修分野の専門教育科目を36単位以上修得していること（No.9の単位を含む）
9	「卒業研究Ⅱ」の単位を修得すること

卒業要件8: 自身が登録した学修分野の専門教育科目を36単位以上修得していること (No.9の単位を含む)

JST: 英語初級
始まり

合計	科目分野	小計	科目分野	必要 単位数
124 単位 以上	共通教育科目	40	英語科目 (必修)	24
			共通教養科目	10
			[CSM] 共通教養科目 (必修)	2
			[GE] 共通教養科目 (必修)	2
			[IR] 共通教養科目 (必修)	2
			言語教育科目および共通教養科目	—
	APS専門教育科目	62	選択した学修分野の専門教育科目 ※卒業研究Ⅱ (必修) の2単位含む	36 以上
専門教育科目			—	
	他学部専門教育 科目	0		
	要卒集計外 科目	0		

- 卒業までに、登録した学修分野に配置された科目を36単位以上修得する必要があります。

登録した学修分野に配置された科目を36単位の内訳 =

- ・ **選択した学修分野の専門教育科目 (34単位) +**
- ・ **卒業研究Ⅱ (2単位)**

- 各学修分野に配置されている科目は、以下のいずれかで確認してください。

- ① [2023カリキュラム図](#)
- ② [2023カリキュラム科目一覧](#)
- ③ [授業時間割](#)

卒業要件8: 自身が登録した学修分野の専門教育科目を36単位以上修得していること (No.9の単位を含む)

APS 2023カリキュラム図より一部抜粋

		1回生	2回生	3回生	4回生	
APS 専門 教育 科目	コア科目	地域研究入門 2				
	文化・社会・メディア (CSM)		社会学 2 国際社会学 2 社会階層論 2 宗教と社会 2 教育と社会 2 異種と社会 2 環境と社会 2 フード・システムと社会 2 異国とグローバリゼーション 2 グローバル化と地域主義 2 多文化社会論 2 ジェンダー研究 2 文化人類学 2	カルチュラルスタディーズ 2 メディアと文化 2 メディアと法 2 メディアと歴史 2 デジタル・テクノロジーと社会 2 グローバル・ヒストリー 2 政治理論 2 人権論 2 平和学 2 人文学と近代 2 社会心理学 2 ビッグデータ分析 2	社会学アドバンスド 2 社会理論 2 エスニシティと国民国家 2 アイデンティティと政治 2 メディアと政治 2 メディアと紛争 2 ニューメディアと社会 2 交際の世界史 2	
	グローバル経済 (GE)		社会階層論 2 国際社会学 2	計量経済学 2 ゲーム理論 2	行動経済学・実験経済学 2 日本経済論 2	アメリカ経済論 2 ヨーロッパ経済論 2
			環境と社会 2 グローバル経済分析 2 異国とグローバリゼーション 2	エネルギー 2 ビッグデータ 2	環境経済学 2	

もし「文化・社会・メディア (CSM)」の学修分野を登録したら…
 同じ分野の専門教育科目の中から**34単位以上**の単位修得が必要

36単位 - 34単位
 = あと2単位は…?

卒業要件8: 自身が登録した学修分野の専門教育科目を36単位以上修得していること (No.9の単位を含む)

APS 2023カリキュラム図より一部抜粋

A P S 専 門 教 育 科 目	グローバル経済 (GE)		社会階層論 2	計量経済学 2	行動経済学・実験経済学 2	アメリカ経済論 2	
			国際社会学 2	ゲーム理論 2	日本経済論 2	ヨーロッパ経済論 2	
			文化人類学 2	国際協力論 2	国際経済学 2	国際機構論 2	
			ミクロ経済学 2	開発政治論 2	アジア経済論 2	公共政策 2	
			マクロ経済学 2	アジア太平洋の比較政治経済 2	開発経済学 2	国際政治経済学 2	
		農業と資源 2	紛争と開発 2	産業生態学 2	特殊講義 (アジア・中東・アフリカ経済事情) 2		
				2	環境コミュニケーション 2	国際金融論 2	
					2	グローバルヘルス経済学 2	環境経済学 2
	国際関係 (IR)		国際協 人権論 政治理 開発政 アジア		2	エスニシティと国民国家 2	アイデンティティと政治 2
	共通A (一)		特殊講				
	共通B ALL (APS)		APSフ				
	演習		地域研究 2		プロジェクト研究 2		
			APS研究作法 2		専門演習◆ 2		卒業研究 I ◆ 2
							卒業研究 II ★ 2
							卒業論文 ◆ 2

36単位 - 34単位
= あと2単位は…?

登録した学修分野に配置された科目を36単位の内訳 =

- ・ 選択した学修分野の専門教育科目 (34単位) +
- ・ 卒業研究 II (2単位)

- 卒業するためには、以下の全てを満たす必要があります。

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	3つの学修分野の中から、いずれかひとつの学修分野を登録すること
7	3つの学修分野で指定されたそれぞれの共通教養科目から1科目ずつ合計6単位以上を修得すること
8	自身が登録した学修分野の専門教育科目を36単位以上修得していること（No.9の単位を含む）
9	「卒業研究Ⅱ」の単位を修得すること

卒業要件9: 「卒業研究Ⅱ」の単位を修得すること

- すべてのAPS学生は、5セメスター以降に演習科目を継続して履修する。
- 「卒業研究Ⅱ」の単位修得が卒業要件の1つである。**

セメスター	4セメ	5セメ	6セメ	7セメ	8セメ	
科目		専門演習	専門演習	卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅱ 【必修】	卒業論文
概要		これまでの学修を統合し、学びを深化させる	これまでの学修を統合し、学びを深化させる	卒業論文または卒業レポートの執筆をおこなう	卒業レポートまたは卒業論文を執筆、提出	
単位	<ul style="list-style-type: none"> 所属したい専門演習を申請し、指導教員を決定する。 	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位
登録		大学による登録	大学による登録	大学による登録	大学による登録	大学による登録
登録取消可否		登録取消不可	登録取消不可	登録取消不可	登録取消不可	取消可
単位必修		—	—	—	必修	—

- 卒業するためには、以下の全てを満たす必要があります。

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	3つの学修分野の中から、いずれかひとつの学修分野を登録すること
7	3つの学修分野で指定されたそれぞれの共通教養科目から1科目ずつ合計6単位以上を修得すること
8	自身が登録した学修分野の専門教育科目を36単位以上修得していること（No.9の単位を含む）
9	「卒業研究Ⅱ」の単位を修得すること

日本語基準の国内学生のみ卒業要件

英語で開講される共通教養科目もしくは専門教育科目(自学部および他学部科目)を20単位以上修得することが卒業要件の1つ

トラック	英語開講科目の受講条件
スタンダードトラック (JST)	「英語中級A・B」が単位修得済み、もしくは、履修免除されていること。
アドバンストラック (JAT)	特別な条件なく、第1 Semester から英語開講科目の登録が可能。

- 言語教育科目（英語科目やAP言語）や両言語開講科目（E/J）は、英語開講科目として認められません。
- **日本語基準の国際学生は、この要件を満たす必要はありません。**

- ▶ 「日本語基準国内学生」は英語開講科目（反対言語）20単位以上の修得が卒業要件になります。

< 自分は日本語基準か英語基準か？ >

- 出願時に選択した基準言語を確認してください

< 自分は国内学生か国際学生か？ >

- 日本国籍保持者、留学ビザ以外の在留資格保持者は「国内学生」です
- 「留学」ビザ保持者は「国際学生」です

休憩



2-1. 受講登録とは

▶ 受講登録とは？

- 各自が受講しようとする授業科目を登録する手続きで、その意思表示をすること。
- 履修計画を決めるうえで最も重要な手続きである。
- 授業の受講、単位の修得および卒業には欠かすことのできない作業。

**受講の意思なく登録だけをしておくことは、本当に学修したい人の妨げになります。
絶対に行わないでください。**

▶ 回生によって、基礎的な科目から順に設置されています

各科目は基礎的な科目から順に、1回生向け、2回生向け…と配置されています。

自身が重点的に学修したい分野をよく考えて、履修する科目の**配当セメスター**、**科目分野**、**科目の前提科目**、**科目の履修条件**などを参考に、系統的な履修を心がけてください。

▶ 登録上限単位数

回生	1回生		2回生		3回生		4回生以上	
semester	1	2	3	4	5	6	7	8以上
通常学生	18	18	20	20	20	20	24	24

新入生のみなさんが
2026年春semesterに登録できる単位数

(単位)

- 各semesterで受講登録できる単位数には上限があります。
- 上限単位数には、大学が登録する単位も含まれません。**
- 各semesterで必ず登録しなければならない「最低単位数」はありません。
- 奨学金や各種プログラムに申請するためには、必要な修得単位数が設けられている場合があります。スチューデント・オフィスへお問い合わせください。

▼APS-J（必修英語科目がある場合）

（単位）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
英語A				英語B		SSW		情報 リテラシー		1	2	3	4	5	6	7	8

学生自身で
削除可能

自分で登録できる単位数

▼APS-J（必修英語科目がすべて免除の場合）

（単位）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
SSW		情報 リテラシー		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

学生自身で
削除可能

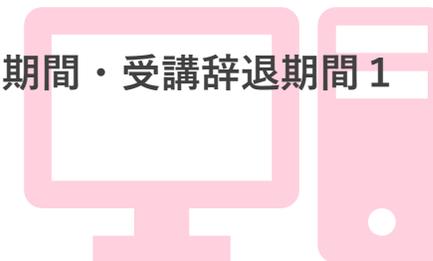
※赤字の科目は、卒業までに必ず単位修得しなければならない科目です。
不合格の場合は、次のセメスターも大学が登録をし続けます。

▶ 大学が登録する共通教養科目

	スチューデントサクセス ワークショップ (SSW)	多文化協働 ワークショップ (MCW)	情報リテラシー
登録方法	大学が登録 ※削除不可	大学が登録 ※削除不可	大学が登録 ※削除可能
登録時期 *秋入学生	1セメスター	2セメスター	1セメスター

「情報リテラシー」について

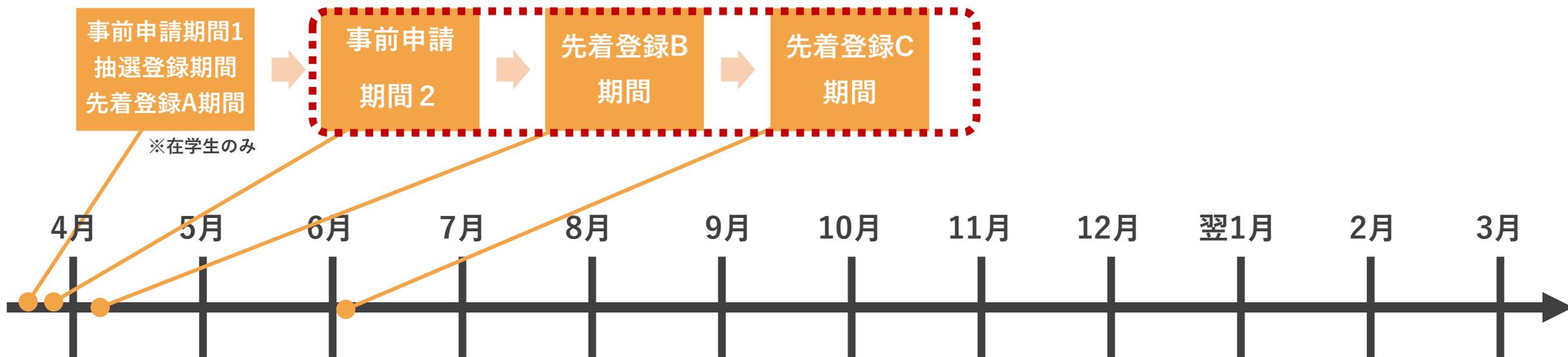
- オンデマンド開講（録画した映像を学生が好きなタイミングで見て学修するスタイル）
- シラバスで到達レベルを確認した上で履修不要と判断すれば、学生自身で削除可能（先着登録B期間・受講辞退期間1でのみ削除可）
- **1セメスター生のみ履修可能**



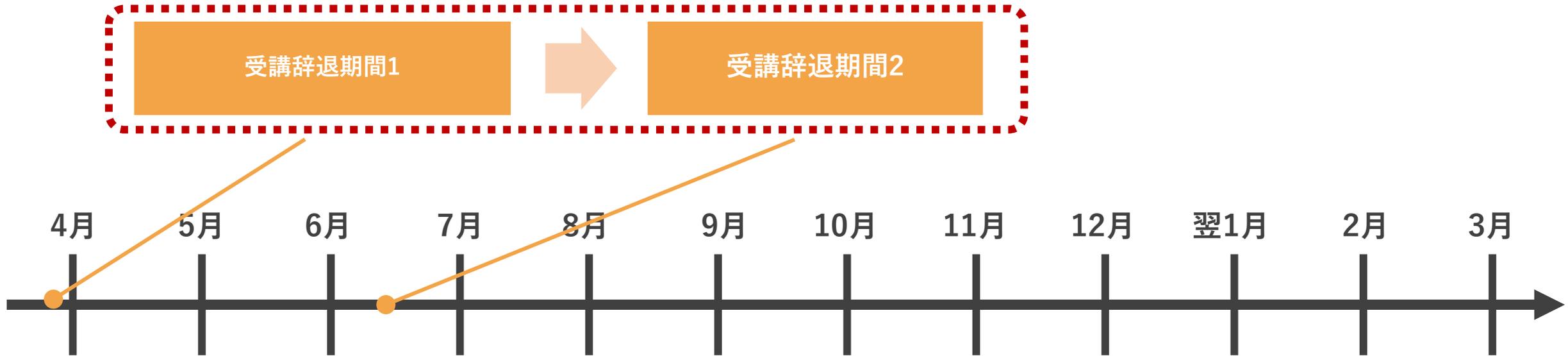
2-2. 受講登録期間

1セメスターの時のみ、【事前申請期間2】、【先着登録B期間】、【先着登録C期間】の3回です。

春セメスター（1セメスター目）



【受講辞退期間1】、【受講辞退期間2】の2回です。





	対象	登録可能時間
事前申請期間 2	新入生 / 再入学生 / 交換留学生等 (新規)	3月27日 (金) 12:00~3月29日 (日) 12:00

開講時期	登録/取消
semester科目	申請可能
第1クォーター科目	
第2クォーター科目	
セッション科目	

- 事前申請対象の科目を申請できます。
- 事前申請して登録された科目は、取消ができません。



	対象	開始時刻	終了時刻
先着登録B期間 4月3日（金）	新生 / 再入学生 / 交換留学生等（新規）	09:00	16:00
	全学生	12:00	16:00

開講時期	登録/取消
Semester科目	登録 / 取消 可能
第1クォーター科目	
第2クォーター科目	
セッション科目	

- 先着登録B期間後に残定員がある科目・クラスは、先着登録C期間に全学部の学生が登録可能です。（第2クォーター科目・セッション科目のみ）
- 他学部の科目は、原則、2回生（3 Semester）から登録可能です。



	対象	開始時刻	終了時刻
先着登録C期間 6月1日（月）	全学生	09:00	16:00

開講時期	登録/取消
Semester科目	修正不可
第1クォーター科目	
第2クォーター科目	登録 / 取消 可能
セッション科目	

- 第2クォーター科目・セッション科目は、残定員のある科目のみ登録可能です。（ Semester科目・第1クォーター科目は変更不可）
- 先着登録C期間終了後は、受講辞退期間2で第2クォーター科目・セッション科目のみ取消が可能です。



	対象	開始時刻	終了時刻
受講辞退期間 1	全学生	9:00	16:00

開講時期	登録/取消
セメスター科目	取消のみ可能 ※大学登録・事前申請・ 抽選登録の科目は 取消不可
第1クォーター科目	
第2クォーター科目	
セッション科目	

- 「受講辞退期間 1」は受講登録科目の削除しかできないため、誤って削除した受講登録を元に戻すことはできません。慎重に提出を行ってください



	対象	開始時刻	終了時刻
受講辞退期間2	全学生	9:00	16:00

開講時期	登録/取消
semester科目	修正不可
第1クォーター科目	
第2クォーター科目	取消のみ可能 ※大学登録・事前申請・ 抽選登録の科目は 取消不可
セッション科目	

- 第2クォーター科目・セッション科目は、取消のみ可能です。
(semester科目・第1クォーター科目は修正不可)
- 「受講辞退期間2」は受講登録科目の削除しかできないため、誤って削除した受講登録を元に戻すことはできません。
慎重に提出を行ってください。
- 受講辞退期間2終了後は、いかなる理由であっても一切の変更ができません。

期間	セメスター 科目	第1クォーター 科目	第2クォーター 科目	セッション 科目
先着登録A期間 ※在学生のみ	登録 / 取消	登録 / 取消	登録 / 取消	登録 / 取消
事前申請期間 2	申請	申請	申請	申請
先着登録B期間	登録 / 取消	登録 / 取消	登録 / 取消	登録 / 取消
受講辞退期間 1	<u>取消のみ</u>	<u>取消のみ</u>	<u>取消のみ</u>	<u>取消のみ</u>
先着登録C期間	<u>修正不可</u>	<u>修正不可</u>	登録 / 取消	登録 / 取消
受講辞退期間 2	<u>修正不可</u>	<u>修正不可</u>	<u>取消のみ</u>	<u>取消のみ</u>

POINT - 考え方 -



- ▶ まだ始まっていない科目
登録・取消ともに可能
- ▶ 既に授業が始まった科目
取消のみ可能
- ▶ 既に授業が半分過ぎている科目・終了した科目
登録・取消ともに不可

受講登録スケジュール ▶

2026年度 春セメスター受講登録スケジュール（事前申請期間2～受講辞退期間2）

受講登録期間	日時
事前申請期間2	3月27日（金）12:00～3月29日（日）12:00
先着登録B期間	4月3日（金）09:00～16:00
受講辞退期間1	4月13日（月）09:00～16:00
先着登録C期間	6月1日（月）09:00～16:00
受講辞退期間2	6月15日（月）09:00～16:00

- 受講登録は自宅やAPハウス等、学内学外問わずインターネットがつながる場所で、行うことが可能です。
- 自分の端末がまだ準備できていない新入生は、先着登録B期間のみ開放PC教室を使用することができます。なお、開放PC教室には限りがありますので、使用できない場合もあります。ご理解をお願いいたします。
- 開放PC教室はStudent Portalでお知らせします。



2-3. 受講登録に向けたワーク（宿題）

重要

受講登録ガイダンス

日時：4月2日（木）

受講登録ガイダンスまでにワークシートを記入してきてください。

ガイダンス当日は、このシートを使いながら、自身の時間割を考えていきます。

【目的】

- ・ 4年間の学びを意識した、計画的な受講登録のノウハウを理解する。
- ・ 受講登録をする際のステップや参照する資料を理解する。
- ・ ExcelやCAMPUS WEBの使い方を理解する。
- ・ 2セメスター以降、1人で受講登録をできるようになる。

STEP 1： 4年間での学びを考えてみる

APUでどんなことを学びたいですか？ 今どんなことに興味がありますか？

将来どんな仕事をしてみたいですか？

なんとなく思っていることで構いません。思いついたことを書いてみましょう。

例：英語を使った仕事がしたい / メディアに興味がある / 国際関係が気になる /
マーケティングを中心に学びたい / SDGsに関心がある / 日本語を教えたい …

2023カリキュラム学会用

受講登録ガイダンスに向けて（履修計画シート）

受講登録とは、各自が受講する授業を登録する手続まで、その意思表示をすることです。履修計画を決めるうえで最も重要な手続であり、授業の受講、単位の修得および卒業に欠かすことはできません。受講登録は、セメスターごとに行います。

「受講登録ガイダンス」では、実際に科目一覧やシラバスを見ながら自分の希望する時間割を組んでもらいます。まずは、時間割を考える際のポイントを理解することが重要であるため、本シート【STEP 1～3】を終了したうえで、受講登録ガイダンスへ参加してください。

受講登録ガイダンス当日は、必ずこのシートを記入したうえで参加してください。

STEP 1： 4年間での学びを考えてみる

APUでどんなことを学びたいですか？ 今どんなことに興味がありますか？ 将来どんな仕事をしてみたいですか？ ふんわり思っていること、なんとなく思っていることで構いません。思いついたことを入力してください。

例：英語を使った仕事がしたい / 観光系の仕事に就きたい / 国際関係が気になる / マーケティングを中心に学びたい / SDGsに関心がある / 日本語を教えたい などなど…

STEP 2： 学びたい科目・興味のある科目を見つける

STEP 1で繋がる科目は何かを意識しながら、カリキュラム図や科目一覧を見て、気になる科目名をワークシート②に入力してみましょう。カリキュラム図・科目一覧には、4年間で学べる科目が掲載されています。

- カリキュラム図：
 - 専門教育科目については、自身が所属する学部のみ掲載しています。1年生と記載されている枠にある科目からピックアップしましょう。
- 科目一覧：
 - 自身の学部以外の専門教育科目（他学部科目）も掲載しています。「担当セメスター」が「1」と記載されている科目からピックアップしましょう。

例）
メディアに興味がある：メディア学入門、日本のポピュラーカルチャー……
国際関係が気になる：国際関係論入門、比較政治学入門、地域研究入門……

STEP 3： シラバスで授業内容を確認する

STEP 2でリストアップした授業でどのようなことが学べるかを調べてみましょう。科目名だけではどのような内容を学ぶのか、授業はどのような風に行われるのかがわかりません。「シラバス」を熟読し、自身が学びたい内容を確認しましょう。授業内容や成績評価の方法をノート等に簡単にまとめておくことで後から見返せます。

-----ワークは以上です-----

STEP 4： 受講登録ガイダンスに参加する

本シートを採ったうえで、受講登録ガイダンスに参加してください。当日は、STEP 3までの内容を踏まえて、今セメスターに取りたい科目が本当に受講登録できるかどうかを確認し、一緒に時間割を組んでいます。

STEP 2： 学びたい科目・興味のある科目を見つける

STEP 1 と繋がる科目は何かも意識しながら、カリキュラム図や科目一覧を見て、気になる科目名を裏面の表に書き出してみましょう。

カリキュラム図・科目一覧には、4年間で学べる科目が掲載されています。

APS 2023 カリキュラム図



APS 2023 科目一覧



STEP 3： STEP 2 で書き出した科目の授業内容を確認する

科目名だけでは何を学ぶのかは分かりません。

授業内容・計画・成績評価方法とが書かれた「シラバス」を確認しておきましょう。

シラバス



● APS 2023カリキュラム 適用学生 記入用紙

		履修したい科目、気になる科目	
共通教育科目	英語	ST ※プレイスメントテストの結果によって、初級A/B～準上級A/Bは大学が登録します。それ以外を書き出します。	
		AT ※プレイスメントテストの結果によって、上級1A/1B～上級2A/2Bは大学が登録します。それ以外を書き出します。	
	日本語	※日本語基準・国内学生は受講できません。	
	AP 資格		
	共通		
	共通教育科目	APU リテラシー	
		—	
		学部 専門 入門	※配置されている科目のうち、少なくともどちらか1つを単位修得する必要があります。
		CSM	※配置されている科目のうち、少なくともどちらか1つを単位修得する必要があります。
		GE	※配置されている科目のうち、少なくともどちらか1つを単位修得する必要があります。
世界市民 基礎	※配置されている科目のうち、少なくともどちらか1つを単位修得する必要があります。		
APS 専門 教育 科目	コア科目		
	文化・社会・メディア (CSM)	※1回生で履修できる科目はありません。2回生（3セメスター）から登録可能です。2回生以上で履修したい科目があれば、書き出します。	
	グローバル/身体経済(GE)	※1回生で履修できる科目はありません。2回生（3セメスター）から登録可能です。2回生以上で履修したい科目があれば、書き出します。	
	国際関係 (IR)	※1回生で履修できる科目はありません。2回生（3セメスター）から登録可能です。2回生以上で履修したい科目があれば、書き出します。	
	共通A (-)	※1回生で履修できる科目はありません。2回生（3セメスター）から登録可能です。2回生以上で履修したい科目があれば、書き出します。	
	共通B ALL (APS)	※1回生で履修できる科目はありません。2回生（3セメスター）から登録可能です。2回生以上で履修したい科目があれば、書き出します。	
	演習	※1回生で履修できる科目はありません。2回生（3セメスター）から登録可能です。2回生以上で履修したい科目があれば、書き出します。 ※「卒業研究 II」は、必修科目です。	
他学部 (APM / ST)	※1回生の間は履修できません。2回生（3セメスター）の【6期】から登録可能です。2回生以上で履修したい科目があれば、書き出します。		

2-4. その他

休講・補講

- 教員の体調不良、気象条件などによって、授業が休講になる場合があります。
- 休講した場合は補講日に補講があります。（学年暦で「補講日」となっている日は空けておきましょう）
- 休講および補講が発生した場合は、Student Portalでお知らせします。

教員との連絡

- 大学では基本的に、教員と直接コミュニケーションを取ることになります。（質問や授業欠席の連絡など）
- 授業に関する質問や疑問は、以下を利用して教員に尋ねましょう。
 - 授業の前後に教室で先生に相談を行う
 - メールで質問をする（連絡先はシラバスやオフィスアワーのページ、授業内で確認）
 - オフィスアワーを利用する（研究室を訪ねて相談できる時間です。オフィスアワーのページで時間を確認）
- 非常勤の先生は研究室がありません。メールまたは授業内で尋ねるようにしましょう。

注 意

- メール連絡の際は、①学籍番号 ②氏名 ③相談・質問内容を必ず記載してください。
- 大学や教員へ連絡する際は、自身のAPUメール（@apu.ac.jp）を必ず使用してください。



1. 復習も兼ねて、次の資料を読みましょう

次の資料を確認し、卒業要件への理解を深めましょう。

WEBサイト



本ガイダンス資料



よくある質問



補足資料（次スライド）

<ウェブサイトの使い方>から確認
しましょう！

2. ワークシートに取り組みましょう

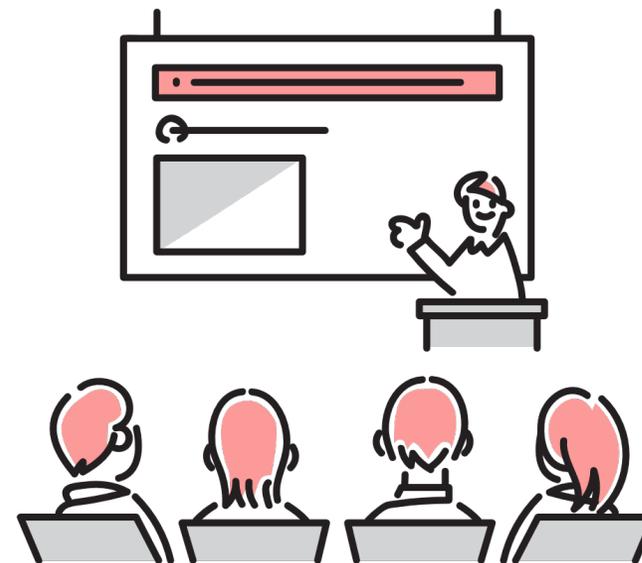
「履修計画シート」を記入したうえで、「受講登録ガイダンス」に参加しましょう。

3. 受講登録ガイダンスに必ず参加しましょう

上記1・2を完了し、「受講登録ガイダンス」に参加してください。

日時： 4月2日（木）

持物： 自分のノートパソコン、記入済みのワークシート、筆記用具



補足資料



ウェブサイト / ウェブ掲載資料

学部ごとの卒業要件や、学部共通の科目（言語科目等）、学修に必要な情報をすべて記載しています。



シラバス

教員が授業の計画を学生に伝えるためのものです。授業内容や成績評価等大切な情報を記載しています。



科目一覧

受講登録をする際に重要となる配当セメスターや履修条件を記載しています。

※セメスターによっては開講されない科目も含まれます。



授業時間割

そのセメスターで開講される授業の曜日・時限・教室等を記載しています。記載のない科目はそのセメスターで開講されません。

1. 大学が登録する科目の時間割を確認する

- CAMPUS WEB「履修状況確認」の「科目一覧」で登録されている科目の授業コードを確認し、アカデミック・インフォメーションのWebサイト「第2章」の「2. 時間割」と照合して、自分の大学登録科目の曜日時限を確認してください。（大学が登録する科目の曜日・時限を変更することはできません。）

2. シラバス・科目一覧・授業時間割を確認する

- 空いている曜日・時限で履修したい科目の情報を、シラバス・科目一覧・授業時間割やシラバスで調べてください。（※必ず自身のカリキュラム情報を確認すること）
- シラバス：授業内容や成績評価、履修の目安等に注目しながら、履修したい科目を考えてください。
- 科目一覧：配当セメスター、前提科目、履修制限を確認し、興味のある科目が履修可能か確認してください。
- 授業時間割：そのセメスターに開講されるかを確認してください。授業時間割掲載されていない科目は、そのセメスターに開講されません。

3. 時間割（案）を作成する

- 1, 2をもとに、時間割の案を作成してください。
- 受講登録当日、希望する科目を登録できなかった場合に備えて、時間割のプランは複数考えることを推奨します。

4. 受講登録日に、受講登録をおこなう

- CAMPUS WEBから受講登録をおこなってください。

- 各学部の卒業要件の詳細は、ウェブサイト にすべて記載しています。自身が所属する学部の情報を確認してください。
- 卒業要件や科目一覧はカリキュラム別に掲載しているので、自身に適用されるカリキュラムの情報を確認してください。

各学部のカリキュラムと卒業要件

各学部のカリキュラム、卒業要件の詳細は以下から確認してください。

第8章 アジア太平洋学部 APSの人材育成目的や卒業要件について 自身のカリキュラムを確認してください	第9章 国際経営学部 APMの人材育成目的や卒業要件について 自身のカリキュラムを確認してください	第10章 サステナビリティ観光学部 STの人材育成目的や卒業要件について
1. カリキュラムとは >	1. カリキュラムとは >	1. カリキュラムとは >
2. アジア太平洋学部について >	2. 国際経営学部について >	2. サステナビリティ観光学部について >
3. 卒業要件・学修分野 >	3. 卒業要件・学修分野 >	3. 卒業要件 >
4. カリキュラム図・科目一覧 >	4. カリキュラム図・科目一覧 >	4. カリキュラム図・科目一覧 >
5. 共通教育科目（言語教育科目） +	5. 共通教育科目（言語教育科目） +	5. 共通教育科目（言語教育科目） +
6. 共通教育科目（共通教養科目） +	6. 共通教育科目（共通教養科目） +	6. 共通教育科目（共通教養科目） +
7. APS専門教育科目 +	7. APM専門教育科目 +	7. ST専門教育科目 +
8. オナーズ・プログラム >	8. APM必修科目反対言語履修 >	

ウェブサイトを見る 

▶ シラバスとは？

- 教員が授業の計画を学生に伝えるためのものです。
- 開講セメスターや授業内容、成績評価の方法、学生への要望事項など、授業に関する基本的で重要な情報が載っています。
- Academic Informationウェブサイトから閲覧できます。
- 受講する科目を決める際に、必ず確認してください。

シラバスの記載事項



- 科目名・クラス名
- 開講セメスター（春・秋）
- 担当教員名
- 授業の概要
- 各授業回の実施形態
（対面/オンライン/オンデマンド）
- 学生への要望事項
- テキスト・参考文献
- 成績評価方法
- 教員の連絡先

シラバスを見る →

▶ アクセス方法

Academic Information ウェブサイト ≫ 第2章 授業関連・シラバス ≫ 1. シラバス ≫ APU シラバス



検索画面

APU Shape your world
Asahi Pacific University

ホーム 2025 Login

言語/Language
日本語/Japanese

シラバス検索

フリーワードによる検索が可能です。科目名や担当教員名、興味のある単語を入れて検索ができます。単語と単語の間にスペースを入れると複数の条件で検索もできます。(例：「アメリカ法律」「憲法 田中」など) 教員名で検索する時は、姓と名の間にスペースを入れてください。
2025年度以前のシラバスを検索する場合は、学部や研究科を指定せず、キーワード等を用いて検索してください。

1ページに表示する結果数
10

検索キーワード※次の記号が含まれるとエラーが発生する場合があります: ?,*,(,),\,,"

授業コード・科目名・教員名・関連する単語など

学部・研究科 (開講学部) 開講年度 開講セメスター
すべて 2025 すべて

開講曜日・時限
 日曜日
 月曜日
 火曜日
 水曜日
 木曜日
 金曜日
 土曜日

- 該当する開講時期を選択し、科目や教員、曜日や時限を指定して調べることができます。
- 科目名や教員で検索する際は、一言一句違わずに入力してください。
- 正確に教員名や科目名を入れるために、授業時間割のExcelから教員名や科目名をコピー&ペーストすることを推奨します。

シラバスの画面

授業科目名	科目ナンバー	授業属性	開講年度	開講セメスター	開講曜	学期	履修制限
10440:アジア太平洋の言語(JA)	[23]-[LIB]-[APU]-1,[17]-[LIB]-[GCF]-1		2025	春セメスター	月5		

受講する上での注意点
 不正行為（カンニング、剽窃等）は自ら学習する権利を放棄し、APUで学ぶ資格を失う行為です。不正行為は厳重な処分の対象となります。 Academic misconduct (cheating, plagiarism, etc.) during an examination amounts to an abandonment of one's own right to learning and will result in disqualification from study at APU. Academic misconduct is subject to severe punishment.

必修科目など一部の科目を除き、履修する科目を選択するにあたり、当該科目における学びの内容、授業手法や設計方法などを踏まえ、参考として活用することを目的に授業評価アンケートの公表を行っています。
 With the exception of some courses, such as required subjects, we publish the class Evaluation Survey Results to give students information about course content, teaching methods, course design, and other items on reference when choosing their courses.
 URL https://en.apu.ac.jp/academic/class_info/class_evaluation_survey/

講義分野（講義内容に関するキーワード）
 言語
 Language

履修の目安

1. アジア太平洋地域の言語や言語学に興味がある学生を対象とする。なお、本科目のあとに『言語と社会』を履修することにより、言語学の基本的な考えや知識を生かしながら、社会言語学について系統的に学習することができる。
2. 日本語で1千字程度のエッセイが執筆できる能力が必要。
3. 授業時間中に発言を求めることがある。なお、本科目ではグループワークや学生のプレゼンテーションは行わない。

授業概要

1. 言語学全体を網羅する教科書を用いながら、基本的な考え方、用語を把握させることを主眼とする。
2. 本学の複言語環境に学習させることにより、本学が提供する8言語の母語を履修生が活用できるようにしながら講義を進めていく。
3. また、言語学の知識

◆履修の目安

授業を受けるにあたって、どのような知識が必要か、履修していることが望ましい科目などが記載されています。

◆科目ナンバー

自身のカリキュラムが入っていれば、受講対象です。

[23]：2023カリキュラムの科目

[17]：2017カリキュラムの科目

*カリキュラムが表示されていたとしても、受講可能かどうかは、科目一覧で確認してください。

*2011カリキュラムの科目の場合は、空白です。

◆成績評価方法

評価方法のほか、出席に関する注意事項や提出物、レポートや試験のことが記載されています。

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準等
成績評価方法備考		
聴解試験（20点）		聴解問題（音声の聞き取り、国際音声字母による表記）
朝末試験（50点）		講義内容をもとに出題（短文記述を中心として、多項選択式問題も数題含む）
課題（30点）		レポート提出および講義中や講義後の「気づきの点」提出

AIポリシー

多文化協働学習の実践方法

1. 受講生は、自分の母語とは異なる言語についてのエッセイを執筆することにより、他の言語の母語話者にインタビューを行ったり、自己の学習経験を内省したり、キャンパス環境を生かした言語の学びあいを実践することができる。
2. なお、期末試験にはAPUが提供する8言語の特徴を問う問題を含める。

授業担当教員の業務経験

科目ナンバリングの詳細を見る 

▶ 科目ナンバリング

カリキュラムの中での科目の位置づけやカリキュラムの体系性を明示する仕組みです。

シラバス上に記載があるので、系統的な履修計画を立てる際の参考情報として利用してください。

授業科目名	科目ナンバー	授業 属性	開講年 度	開講セ メスタ ー	開講曜 日・時限	学部・研究科 (開講学部)	学部・研究科 (他学部開講)	全担当 教員	単 位 数
10571:基礎数学 (JC)§10757:基礎数学(JC)	[23]-[LIB]-[MSG]-1, [17]-[M]-[REQ]-1		2025	春セメ スター	木3			高妻 倫太郎	2



例	カリキュラム	科目分野	学修分野	グレード番号
科目ナンバリング	23 -	LIB -	MSG -	1
意味	23カリキュラム	教養科目	学部専門入門分野	1回生向け

▶ 科目一覧とは？

- 各科目を履修する際の条件が記載されています。
その条件を満たしていない場合は、受講登録できません。
- 掲載されている科目は、毎セメスター開講される
とは限りません。
- 開講される科目の詳細は、セメスターごとに公開
されるシラバスや時間割で確認してください。

科目一覧の記載事項



- 科目名
 - 単位数
 - 配当セメスター
 - 前提科目
 - 複数回受講できる科目
 - 履修制限
 - 学修分野
- etc

科目一覧を見る →

▶ アクセス方法

Academic Information ウェブサイト ≫ 第8章 アジア太平洋学部 ≫ 4. カリキュラム図・科目一覧 ≫ APS 2023カリキュラム科目一覧

第8章 アジア太平洋学部
APSの人材育成目的や卒業要件について自身のカリキュラムを確認してください

- 1. カリキュラムとは >
- 2. アジア太平洋学部について >
- 3. 卒業要件・学修分野 >
- 4. カリキュラム図・科目一覧 >**
- 5. 共通教育科目（言語教育科目） +
- 6. 共通教育科目（共通教養科目） +
- 7. APS専門教育科目 +
- 8. オナーズ・プログラム >



第8章 アジア太平洋学部 |

4. カリキュラム図・科目一覧

Share on: |

各カリキュラムによって履修できる科目が異なります。
自身のカリキュラムを選択し、履修できる科目や履修するための条件等を確認してください。

23 2023カリキュラム
◦ 2023年度以降の新入学生（1セメスター回生）として入学した学生

カリキュラム図

[APS 2023 カリキュラム図](#)

科目一覧

APS 2023カリキュラム科目一覧 (Excel)

科目一覧は、各科目に設定されている科目コードや、修得した単位が集計される科目分野などの情報が記載されています。
掲載されている科目は、毎セメスター開講されるとは限りません。
開講される科目の詳細は、セメスターごとに公開されるシラバスや時間割で確認してください。

[APS 2023カリキュラム科目一覧](#)

サンプル

科目名 Subject Name	配当セメ スター Sem	前提科目JST Prerequisite Subjects for JST	前提科目JAT Prerequisite Subjects for JAT	前提科目E Prerequisite Subjects for E	履修制限 Course Registration
中国語Ⅱ Chinese II	1	・010180 中国語Ⅰ Chinese I ・011100 英語初級 A Elementary English A ・011101 英語初級B Elementary English B	・010180 中国語Ⅰ Chinese I	・010081 日本語初 級Ⅰ Japanese Foundation Course I ・010091 日本語初 級Ⅱ Japanese Foundation Course II ・010092 日本語初 級Ⅲ Japanese Foundation Course III ・010180 中国語Ⅰ Chinese I	
日本語プロジェクトF Japanese Project F	1	・010103 日本語上 級 Advanced Japanese	・010103 日本語上 級 Advanced Japanese	・010103 日本語上 級 Advanced Japanese	
日本語・日本社会 Language and Social Topics in Japan	1	・010103 日本語上 級 Advanced Japanese	・010103 日本語上 級 Advanced Japanese	・010103 日本語上 級 Advanced Japanese	
会計学Ⅱ Accounting II	3	・030571 会計学Ⅰ Accounting I	・030571 会計学Ⅰ Accounting I	・030571 会計学Ⅰ Accounting I	B期間から Available from Period B

※画像はサンプルです。正しくはAPS2023カリキュラムの科目一覧を見てください。

特にチェックすべきPOINT



【配当セメスター】

受講登録ができるようになるセメスターです。
配当セメスター以上であれば受講登録できます。

【前提科目】

その科目を履修するために単位修得しておく必要がある科目
です。定められた「前提科目」を修得していない場合、配当
セメスターの条件を満たしていても受講登録できません。
JST/JAT/E 別に前提科目が異なります。

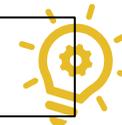
【履修制限】

その科目を受講登録するときの制限です。
大学が登録することや、受講登録できる期間、言語基準に
よっての制限が記載されています。

▶ 授業時間割とは？

- その Semester で開講される授業の曜日・時限・教室等を記載しています。
- 公開中の時間割に掲載されていない科目は、その Semester で開講されません。
※セッション科目の時間割は、別途告知します。
- 時間割には、右記のことが記載されているため、受講登録の前に必ず確認してください。

授業時間割記載事項



- 授業期間・曜日・時限
- 授業形態・教室・Zoom ID
- 講義名・講義コード
- 担当教員名
- 成績評価方法
- 言語
- 配当 Semester
- 科目分野・学修分野

授業時間割を見る 

▶ アクセス方法

Academic Information ウェブサイト ≫ 第2章 授業関連・シラバス ≫ 2. 授業時間割・教室変更
アジア太平洋学部（APS） ≫ 2023カリキュラム学生用 2026年度春semester時間割

The screenshot shows a dark red header with the text "第2章 授業関連・シラバス" and "科目の開講形態、時間割、休講・補講、授業欠席等について". Below this is a light orange navigation menu with five items: "1. シラバス", "2. 時間割", "3. 授業評価アンケート", "4. 休講と補講", and "5. 病欠・忌引きの欠席手続き". Each item has a right-pointing chevron icon.

授業時間割

時間割表は、学部・入学年度によって異なります。以下ページをよくご確認ください
秋semesterの時間割とシラバスは今後一部変更される場合があるため、2025
※夏セッションの時間割は6月頃、冬セッションの時間割は12月頃に公開予定
※春semesterの大学が登録する科目のクラスについては、在校生向けは3月1
せ」にておこないます。

[2025年度夏セッション時間割](#) (PDF、2025/7/7更新)

アジア太平洋学部（APS）

◎2023カリキュラム

- ① 2023年度以降に新入学生（1semester一回）
- ② 2024年度以降に2回生編・転入学生として
- ③ 2025年度以降に3回生編・転入学生として

APS 2023カリキュラム学生用
2026年度春semester時間割

2025年度春semester時間割

- [2023APSカリキュラム学生用 25Spring](#) (xlsx、2025/5/28更新)

2025年度秋semester時間割

- [2023APSカリキュラム学生用 25Fall](#) (xlsx、2025/3/3更新)

授業時間割の見方

期間 開講される期間を記載 **1**

Zoom MTG ID / 教室 Online : Zoom IDの記載
In-Person(対面授業) : 教室の記載 **2**

In-Person or Online 授業形態 : In-Person/OnDemand/Online **3**

1	2	3					
期間/ Term	曜日/ Day of Week	時限/ Period	Zoom MTG ID	教室/ Classroom	In-Person or Online	授業コード/ Class code	講義名
1Q	火/Tue.	1		和心庵		02702	茶道
2Q	木/Thu.	1	333-333-333			02803	西洋哲学
Semester	月/Mon.	3		F204		03035	観光社会学
Session1	セッション /Session	T.B.A.		T.B.A.		02703	日本の伝統芸能

※時間割はサンプルです

言語

開講言語

J：日本語開講 E：英語開講
Es：英語開講としてみなす

4

担当
セメスター

履修できるようになるセメスター

新入生は「1」と記載されている科目のみ履修可能
数字以上のセメスターであれば、履修できます

5

分野

単位が集計される科目分野

6

Subject Name	担当教員	Instructor	言語/ Lang.	担当セメスター / Semester	分野/ Field
Bridge Program EA	AAA AA	AAA AA	Es	1	教養/Liberal Arts
Pre-Intermediate English A	BBB BB	BBB BB		1	言語/Language
Pollution Prevention JA	CCC CC	CCC CC	J	3	他学部/ Other College
Introduction to Marketing EA	DDD DD	DDD DD	E	3	他学部/ Other College
Media and HistoryEA	EEE EE	EEE EE	E	3	専門/Major

これにて終了
お疲れさまでした！

